＝ （＝つねにをしくすえる） 令和４年６月

◎ブッダ　『悪魔との対話』岩波文庫、中村元訳

１．**わたしは、もはやからされた**。

**わたしが、あの〈ためにならぬ〉からされたのは、いことだ**。

**なるものは、すべてためにならぬもの…、くにたぬものである**。

◎白隠禅師［1685 - 1769］の言葉［臘八示衆で「勇猛」が６回、「竪起脊梁骨」が３回語られている］

２．**せよ**。［白隠禅師の師である正受老人が常に語っていた言葉］

３．はにず。の く にす。のくの

をせんとせば、**を**し**、をにし、せよ**。

原文：坐禅通一切諸道。八百万神 悉皆身中鎮坐矣。如此欲祭祀鎮坐諸神者、**竪起脊梁骨 充気丹田 正身端坐**。

４．はただののみ。 ぞのをせざらんや。

◎如浄禅師［1163 – 1228、道元禅師の師匠］の言葉

５． **をせよ。にして、にすることれ**。

原文：昼夜 竪起脊梁 勇猛 切莫放倒 　大意：昼夜 背骨を立て起し、勇猛に、どうか腰を落さないでくれ。

◎五祖法演禅師［ ? - 1104］の言葉

６． すべからず。**を**せよ。　 原文：不可 蒲団上 死坐。竪起脊梁。

◎大森曹玄老師［1904 - 1994］の言葉

７．どもは**にをてなければになりません**が、にるときにはそののがです。**けは、に**です。

◎［1880 – 1965］の言葉

８．**まっぐにただっておるよりほかには、まったくのない**というのは

のことである。

９．**ただ するだけで、あとのことは はいらない**。

10．はあたかも、がの［名刀］をきいてえているとに

**な**である。どんなであろうと、ギリギリのなには、もれることのできないなものがある。

11．「**をにて**」というのは、**いののこのっただにする**ということである。しても、はなくなるものではない。この・のをもって、**のままにする**ことだ。

◎岡田虎二郎［1872 - 1920］の言葉

12．**なることがあっても、をしてはならない**。なるもこの。

13．をてるにがわる。をまっすぐにするがし。

14．**はにせて、らはしくるというがあるきりです**。

15．「がある」とは、にるとかのにあるとか、 **のある**

**ものが、のをしいて、する**のをいう。

◎森信三［1896 - 1992］の言葉

16．つねに**をシャンとてること**。これ**のったになる**なり。

17．「」（伊藤三樹夫作） **をてることは　いのちをてること**

　をてることは　をてること

　をてるたびに　のがひきしまってくる

　このに　いのちがちわれてくる

　は いのちのみそぎ　は いのちのだ には よみがえるのだ　　とともに よみがえるのだ きるとは よみがえることだ

　きるとは　この　をてること 　をてけることである

◎『孟子』［紀元前300年頃］（岩波文庫、上下２巻、小林勝人訳注）

18．それはのなり。はのなり。… **くがのをう**。…**することれ**。… ののぜざるをえてをけるり。… のをけてぜしめざるはし。… ただきのみにず、またをう。

19．のは… **のきをしとし、のをとし、のぶるのをしむ**。… に「**のせるは（避）くべきも、らせるは（遁）るべからず**」とえるは、れこのなり。

◎吉田松陰［1830 - 1859］の言葉（『講孟剳記（こうもうさっき）』 講談社学術文庫）

20．、の、のきをしとし、のをとし、ぶるをしみとし、… 、にりてにららざるは、にしむべきのみ。

21．**をわざるはのなり。もしこれをわばちなり。**…**そのをえば、ちにて、にももなきとは、なるかななるかな。**

◎貝原益軒［1630 - 1714］の言葉

22．ののをほしいままにしてをうは、たとえば、ら のどぶえを

たつがし。のよくをやぶる、をてするにじきをれらば、などかをばざるべき。… ［この理を］よくれらば、**などかのをなわざるべき**。

23．の**つねにをしくすえ**、… **にをあつむべし**。にしてをいうにも、のにのぞみ、いそがはしきも、すべし。もしやむをずして、とをずとも、にやぶられず、ならずしてあやまりなし。